

# ふれんど通信

第 38 号

発行 令和 2 年 10 月 31 日 児童養護施設ふれんど

〒348-0047 埼玉県羽生市大字下新郷 666 Tel.048-560-5866



## こども食堂と児童養護施設の役割について思うこと

施設長 武藤 裕之

今年、7月から8月にかけて大変な酷暑が続きました。新型コロナウイルス影響で、夏休みでも出かけられない子どもたちに、施設の中でもできる楽しいことはないかと、過去の夏は何をしていたかを考えてみました。一昨年のことになりますが、子どもの支援をしているボランティアグループが開催していた「こども食堂」に手伝いに行ったことを思い出しました。暑い中、汗を流しながら焼きそばを焼いたこと、子どもたちと虫取りやザリガニ釣りをして遊んだことなど様々なことを今でも鮮明に覚えています。

すでに誰もが耳にしたことがあるといえる「こども食堂」ですが、東京大学特任教授・NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長の湯浅誠さんは、「こども食堂はまさに、地域のコミュニティを生み出す場であり、居場所になってきています。」と同ボランティアグループ主催の講演会において述べていました。こども食堂は、一般に「貧困家庭の子どもに食事を提供する場所」だと思われがちですが、湯浅さんは地域のコミュニティを生み出す機能こそが重要であるというのです。「地域の人たちが交流する拠点、地域の高齢者と子どもが出会う拠点であると同時に、課題を抱えている子がいれば、その子のさまざまなサインをキャッチする拠点でもあるのです。」と述べています。こども食堂は今や子どもだけのものではなく、地域を支える拠点になりつつあると感じています。

2019年6月のデータでは、全国のこども食堂は確認されているだけで3,718か所に上り、埼玉県でも前年の2倍以上の122の団体が活動しています<sup>1)</sup>。こども食堂が「貧困家庭の子どもを集めて、食事を提供するところ」だとしたら、その究極の目的はこども食堂自体がゼロになることともいえます。子どもの貧困が解決すれば、こども食堂は不要になるからです。しかし地域の交流拠点でもあったら話は違います。こども食堂の調理ボランティアの最高年齢91歳の女性は「待っている誰かがいるから、がんばれる。」と話し、この女性は活動を通じて「自分が元気をもらってる」と感じています。こども食堂は一方的にどちらかがどちらかを支える拠点ではなく、集まったひとり一人が誰かに支えられ誰かの役に立つ拠点であると考えることができます。地域における子どもの居場所・こども食堂の役割や期待はこれまで以上に大きくなっていくと考えます。

こども食堂が地域の交流の拠点として機能していく中で、児童養護施設は地域でどのような機能が求められているのでしょうか。こども食堂の場、フードバンクをはじめとするフードドライブ・フードパントリー等の一連の活動など、地域に貢献できる資源がたくさんあります。養育の専門家である保育士や児童指導員もいます。児童養護施設は職員が子どもたちの面倒を見ているようなイメージがありますが、実は職員も子どもたちに支えられ、教えられながら子どもたちと共に生活をしています。今後もっと地域に開かれ、地域に貢献していくことで、交流の拠点となる可能性を秘めています。コロナ禍の今、入所している子どもたちが安心して暮らせるように、環境を整えることだけで精いっぱいですが、今後地域の交流の拠点となれるように、少しずつですが準備をしたいと考えています。

現状の困難を乗り越えて、こども食堂がどんな進化を遂げていくのか楽しみにしています。

<sup>1)</sup> 埼玉県子ども食堂ネットワークホームページ 最終検索日 2020/10/25





## 短かった夏休みの思い出

コロナウイルスの影響もあり、例年のように外出できませんでしたが、子どもたちは施設で用意したプールで遊んだり、グラウンドで汗だくになるまで遊んだりと楽しそうに過ごしていました。特にプールには毎日飽きることなく入っていて、「10秒潜れるようになったよ!」「少し泳げるようになったよ!」などの嬉しそうな声が聞こえてきました。今年も子どもたちの成長を感じられる夏になりました。

【C棟職員 上原】

今年はコロナウイルスの影響で外出があまり出来なかったけど、外でプールをしたりして楽しく過ごせました。棟では自主学習に取り組んだり外で走ったりしました。来年はコロナウイルスがおさまリ、棟外出やいろいろなことをやりたいです。短かったけど楽しかったです。【小6 男子】



園庭の山からシャボン玉を飛ばして誰が一番遠くまで飛ぶか勝負して、幼児さんに負けたことが一番印象に残っています。来年は勝てるようにトレーニングします。

【G棟職員 今村】

プールに Aちゃんと一緒に入って楽しかった。プールに入って水をかけあった。グラウンドで職員と Bちゃんと Cちゃん でボール投げをしたことが楽しかった。【小4 女子】



## 昼間保育 夏のお泊り会

8月20~21日、小学生3人、幼稚園児3人、昼間児2人の合計8人は昼間保育のプレイルームにて1泊2日のお泊り会を行いました。どの子もリュック2個を抱え集合、ワクワクドキドキでスタート!

### ☆1日目

最初はパン屋さんにて各自自分の食べたいパンを購入。それを持って、いざ古河市の「ネーブルパーク」へ。自分で選んだパンのお味は最高。お腹いっぱいになると川遊びの始まり。水鉄砲で水の掛け合い。職員だって負けていない。みんなでびしょびしょ!「あ~楽しかった」の言葉とともに着替えてふれんどへ。帰ってからのお風呂も夕飯後の花火も、まるでホテルにでも泊まっているかのようなはしゃぎっぷり。夜はぐっすり眠れました。

### ☆2日目

早起きしての虫取り大会。取れた子、取れなかった子それぞれだったけど、みんな朝から走り回ったよ。その後の朝食のパンも、プール後の昼食のおにぎりも、まるで競争でもしているかのような勢いに圧倒。

子ども8人職員4人共に走り回った2日間。とっても楽しく、笑顔・笑顔。充実たっぷりの2日間。最後に食べたピカチュウアイス、とってもおいしかったね。夏の最高の思い出になりました。



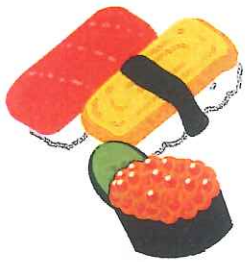
# 棟外出

## B棟「那須の森の空中アスレチック nozaru、

### Cafe facile」

初めにアスレチックに行きました！想像以上の高さに驚いてリタイヤする子も入れば余裕で進んでいく子もいました。

疲れた後はみんなでCafe facileに行きました☆とてもおしゃれで落ち着いた雰囲気、疲れた体も休まりました。久しぶりに遠くへみんなで外出することができて良かったです。楽しい思い出になりました！！



## C棟「ツインリンクもてぎ」

大きなアスレチックやゴーカート体験できるツインリンクもてぎに行きました。大きい子たちは、ゴーカートで見事な運転技術を見せてくれました。小さい子はかわいらしいゴーカートで真剣に運転していました。その姿はとてもかわいらしかったです。

アスレチックではみんなで一緒に楽しみました。でも大人は次の日筋肉痛でした。

夕食は回転寿司です。お寿司はみんな大好きなので注文が止まりません。たくさん食べすぎて、お腹を壊してしまうのではと思うくらいです。帰りはみんな満足そうに車の中で寝ていました。無事に遊びに行けて良かったです。

## EFG棟「BBQ」

9月21日に男子棟のEFG棟のみんなで利根川沿いの川岸でBBQをしました。BBQの出張業者を手配して道具と肉を持って来てもらい、焼きそばも作りました。雨も降らずに天候はもち、子ども達はもりもり食べました。BBQの後には利根川で川遊びをしました。水鉄砲で遊ぶ幼児、ペットボトルで網を作って魚獲りをする中学生、学校で出来なかったプールの代わりに泳ぐ子等々、思い思いの川遊びを楽しみました。3棟合同で職員の数も多かったので、川にがっつき入って楽しめました。コロナ禍で何も出来ずつまらない生活なので、少しでも思い出が作れてよかったです。

来年もやりたいと言う子もいたので、こういう機会が作れたらいいと思います。





### 3 施設合同行事“秋祭り”



10月10日(土)、当法人のふれんど、特別養護老人ホーム「くわの実」、乳児院「つぼみ」の3施設合同行事“秋祭り”を初めて開催しました。屋外での開催予定でしたが、台風通過によるあいにくの風雨のため、「くわの実」の室内で、コロナ感染予防に十分注意し楽しみました。

- \* 舞台：ふれんどの幼児と小1児童・新任職員がムジナモン音頭を元気いっぱい踊りました。
- \* ゲームコーナー：スーパーボールすくい、射的を楽しみました。勢いよくボールを取ろうとする子、慎重に欲しいものを狙う子など、皆の性格がよく表れていました。
- \* 出店：チョコバナナやたこ焼き、焼き鳥など、おいしい食べ物がたくさん！夕食があまりお腹に入らない程食べて、満足そうでした。

初めての試みでしたが、ふれんどの子たちにとっては、普段顔を合わせる事のない小さい子やご高齢の方々と関わる貴重な機会となりました。



### ふれんど運動会

10月17日(土)、幼児・小学生・職員によるふれんど運動会を、ワークヒルズ羽生の会議室を借りて開催しました。

～競技内容～

- ①エビカニクス ②ボール運びリレー ③おにぎり上手につつめるかな？ ④ペットボトルポウリング ⑤障害物リレー

盛り上がりを見せていたのは障害物リレーで、児童・職員どちらも接戦を繰り広げていました。

限られた空間での競技でしたが、今年は感染症対策をしっかりと、大盛り上がりの1日でした！！



## \* 高校生のアルバイト \*



ふれんどには、自立のためにアルバイトをがんばっている高校生が6名います。  
今回は彼らにアンケートに答えてもらいました。

①学年 ②性別 ③業種（バイト内容） ④やりがい・思うこと

- ①高校2年生
- ②女子
- ③コンビニ レジ店員
- ④お客様の笑顔を見れてうれしいです。



- ①高校2年生
- ②男子
- ③レストランのウェイター
- ④”今”の自分のためにバイト代を使いたいけど、大学進学を希望しているから使えないのです。



- ①高校2年生
- ②男子
- ③ガソリンスタンド  
(自動車部品のセールス・自動車整備・洗車)
- ④お客様と信頼関係を築くこと。



- ①高校3年生
- ②女子
- ③スーパーのレジ
- ④効率よく仕事ができるかを考えています。カゴにどれだけ上手く入れられるかとか…。



- ①高校2年生
- ②女子
- ③スーパーのレジ
- ④つまらない、疲れる。  
難しい客が多い。ストレスは結構たまると思う。



- ①高校1年生
- ②男子
- ③寿司屋のキッチン
- ④メニューに載っているお寿司よりおいしそうなお寿司を作りたい。



## 日誌



※毎月、職員会議・自立支援検討会議を実施  
※随時、職員研修を実施

### ◆8月

8～23日：小中学校夏休み  
31日：2, 3年目職員園内研修  
公立高校：2～3週間夏休み

### ◆9月

11日：西中学校体育大会  
園内性教育「つぼみの会」(高校生)  
15日：新郷第二小学校との連絡会  
20日：B棟棟外出(那須の森の空中アスレチック NOZARU)  
21日：E・F・G棟棟外出(利根川でBBQ, 川遊び)  
29日：第3回園内新任職員研修

### ◆10月

3日：C棟棟外出(ツインリンクもてぎ)  
4日：春山幼稚園運動会  
6日：埼玉研フォローアップ研修  
9日：就学児健診  
10日：法人3施設合同秋祭り  
16日：東中2, 3年ミニ運動会  
17日：ふれんど運動会(幼児・小学生)  
手子林小スポーツフェスティバル  
19～30日：新二小休校  
24日：川俣小ふれあいまつり(収穫祭)・なかよし運動会  
30日：東中3者面談  
31日：漢字検定  
中学校・高校：到達度テスト

◆11月  
19日：新二小運動会



25日：手子林小持久走大会

27日：さいたま子どものこころクリニック星野

Drによる園内全体研修



いつも温かいご支援ありがとうございます

～寄贈品～

(R2年4月～7月)

(有)ダスカジャパンクアウテモック、フードバンク北関東、(株)かねか苑葬祭、ショーワ労働組合、(株)ハネスト、(株)三栄商社、東京第一友の会みずほ台最寄、(有)うおきん、羽生社協、JAほくさい婦人部、(株)フレーベル館出版本部、NPOライツオンチルドレン、日本コカ・コーラ社、さいたま新聞手作りマスクの輪プロジェクト、第一生命加須営業所、(株)和田百貨店、(株)トータルデザインセンター、羽生の杜、(株)ケンゾー、島田精肉店、(株)木村周作商店、斎藤三光堂、埼玉県社会福祉協議会、飯田近夫、垂石ちえ子、漆原茂、柳瀬七生、川原朝美、古谷エリオノリユキ(敬称略・順不同)



### 《編集後記》

朝晩の寒暖の差が激しい季節となりましたが、葉の色付きが日々鮮やかに変わっていくのを見るのは、このコロナ禍の中しばし心癒されるものです。ここ北埼玉の田舎でも、感染のリスクは対岸の火事ではまったくなくなり、ちょっとした風邪の症状でも医療に受診しにくい今日この頃。とにかく気を緩めず、日々風邪・インフル含めて感染予防を心がけ、何とか笑顔・元気に皆で乗り切りたいと思っています。

担当 矢板・山中